

国民体育大会第 37 回四国ブロック新体操予選大会 (愛顔つなぐえひめ国体新体操競技リハーサル大会)

1 趣 旨

四国地区のスポーツを振興し、競技水準を一層高めるとともに、各県の親善と交友を深めることを目的とした大会であり、第 71 回国民体育大会の予選を行う。

2 種別(種目)及び参加人員

種 別	種 目	監 督	選 手	参加県	合 計	本大会枠
少年女子	新体操	1	7 (2)	4	32 (8)	3

()内は補欠

3 参加資格・所属県及び選手の年齢基準

第 71 回国民体育大会総則 5 に定めるほか、次による。

少年(競技)に参加できる選手には、平成 13 年 4 月 2 日～平成 14 年 4 月 1 日までの間に生れた中学 3 年生を含むものとする。

また、競技種別などを重複して出場することはできない。

なお、監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認体操コーチ、または、公認体操上級コーチのいずれかの資格を有する者であること。

4 競技上の規定及び方法

(1) 競技規則

公益財団法人日本体操協会制定の競技規則による。但し四国体操協会申し合わせ事項も含む。

(2) 新体操の競技方法

ア 適用ルールについては、別途、公益財団法人日本体操協会から都道府県に通達する。

イ 競技内容 団体競技 ※当該年の全国高校総体で採用された種目と同一とする。

個人競技(フープ・ボール・クラブ・リボン)

成績順位は以下の合計得点によって決定する。

団体競技の得点及び個人競技の得点(4 種目 4 演技×1 / 4)の合計。

ウ 団体競技は、各県ごとに 1 チーム 7 名(うち補欠 2 名)で団体を編成し、演技者は 5 名とする。

エ 個人競技は、団体演技者 5 名のうちから 4 名だけが出場できる。

5 表彰

(1) 総合成績上位 3 位までの県(チーム)に表彰状を授与する。